

【所信】

2019年度 副理事長 干場 文孝

我々の取り巻く環境の大幅な進化に伴い、子どもたちの可能性がより多く広がりを見せています。InstagramやフェイスブックなどのSNS、また、YouTubeやLINEなどのツールを通じて、世界中の様々な人との国や言語を超えて繋がりを持つことや大人たちが育ってきた時代では得ることが難しかったより多くの情報を瞬時に取り入れる事が昔のアナログ時代とは違い簡単にできるなど、子どもを取り巻く環境も自身の子どもの頃の環境に比べ、急激な変化を遂げています。そういった環境の変化からバーチャルな世界に費やす時間が段々と増えてきており、自身の子どもの頃によく見られた子ども同士が顔を突き合わせて地域の自然の中で遊んでいる光景が段々と少なくなっているように思います。それと同時に子ども同士の関係性や親たちとの関係性、そして地域の大人との繋がりも希薄になってきている現状もあると感じます。だからこそ、今の子どもたちが置かれている環境を考慮しながら子どもたちと向き合い、我々大人たちが育ってきた頃に感じた感性や習慣を伝えて残していくことも重要であり、これから成長する子どもたちの可能性をより豊かにしていくものと考えます。

近年、情報技術の進歩によりコミュニケーションの形も変わってきています。バーチャルな世界の中で時間や距離、国や言語を超えて誰とでも簡単にコミュニケーションを取る事のできる環境がある現代において、私たちが学んできた顔を合わせたコミュニケーションが少なくなり学べなくなっている現状があるように思います。そのような現状がある中でも便利になるということは決して悲観することばかりではありません。顔を合わせたコミュニケーションを取ることで、よりお互いを知ることができ、子どもたちはもちろんの事、地域の大人たちや親たちも自身の成長や可能性へと繋げていけるものと考えます。

子どもたちは、日々成長していく中で親をはじめ、大人たちの背中を見ながら多くのことを感じ、そして多くのことを学び育っていきます。日々成長していく子どもたちを通じて、「子は育ち、親もまた育つ」と我々が提唱する「子育て」の理念のもと、取り巻く環境の変化を捉えながら「子ども・親・地域」が共に学び、共に育ち、共に成長へと繋げられるよう環境づくりに邁進して参ります。